



BE THE INSPIRATION

国際ロータリー 第2570地区 第2グループ

志木ロータリークラブ

2018-19年度 国際ロータリー会長 バリー・ラシン 「BE THE INSPIRATION—インスピレーションになろう」
 2018-19年度 第2570地区ガバナー 茂木 正 「想いを繋ぎ地域と国の発展に奉仕する」
 2018-19年度 志木RC会長 林 康雄 「凛として挑む 一衆の目的を目指し」

第2266回 例会

2019-2-6

- ◎司会 高橋健一郎 副会長
- ◎点鐘 林 康雄 会長
- ◎ソング 君が代・奉仕の理想
- ◎ソングリーダー 金剛 光裕 会員
- ◎四つのテスト 金剛 光裕 会員
- ◎ゲスト ソダリ・セール・バハドルさん
(米山奨学生)



ソングリーダー・四つのテスト 金剛光裕会員

「会長挨拶」

会長 林 康雄

今月は「平和と紛争予防／紛争解決月間」です。私は、ロータリーの究極の目的は、職業人である世界中のロータリアンが知り合いを広め仲良くなり、互いの民族の歴史・文化を尊重し相互に理解し合うことで、草の根レベルで世界平和を維持継続させることにあるのではないかと考えています。日本の国には、過去に悲しい戦争の歴史がありました。私個人の知識経験でそれを語ることは出来ませんが、2015年12月号の「ロータリーの友」に、「少年皇族の見た戦争」という一冊の本が紹介

されていました。

著者は東京南ロータリークラブの会員で、2009～2010年の第2750地区ガバナー久邇邦明氏です。邦明氏は、久邇宮家朝彦親王の曾孫にあたり久邇宮家の直系の長男です。皇族の一員として戦中は海軍兵学校に学び、太平洋戦争後は皇籍を離脱して民間会社に勤務、ビジネスマンとして英国・オーストラリア等の諸外国で要職を務め、平成2年からは伊勢の神宮大宮司を務められていました。今日は、邦明氏の生い立ちから平成27年までの経験とガバナーとしての卓話をまとめたこの著書から皇族の見た太平洋戦争と、氏の日本人への警鐘を紹介したいと思います。

戦前、皇族に政治への口出しをされては困るという理由で皇族の男子は陸軍か海軍の軍人になることが原則とされていました。父親が海軍であったこともあり、邦明氏は昭和20年4月、16歳で海軍兵学校へ入校。海軍兵学校入校式にあたり「お国のため、銃後の人々

のために戦わねばならぬ、日本は絶対に勝つのだ」と思いこんでいる一軍国少年と当時の自らを表しています。広島への原爆投下、長崎へも原爆に続き終戦。邦明氏は当時を振り返り、今にして思えばおかしなこと、どうして信じていたのか不思議だが、「日本は神国だ、大東亜共栄圏を作るための戦争だ、必ず勝つ、そのお役に立つために戦うのだ、身を捧げるのだ」と思い込んでいた。当時の少年の大半はこうした軍国少年だった。教育の恐ろしさ。そして目前に突きつけられた敗戦のこの無残な現実。「一体どうしたわけだ。」戦後邦明氏は茫然たる日々を送ることになる。どうして開戦を阻止出来なかったのか、「皇族は何をしていたのか」と父親に食い下がったこともあったそうです。当時の皇族は大きな権威をもっており、本気になって戦争阻止に動き出せば動きは変わったかもしれない。

太平洋戦争は、戦死者に加え、沖縄の戦闘と本土の無差別爆弾や原爆投下による非戦闘員の死者を合わせて、三百数十万人を超える死者を数えました。戦死者のうち半数は餓死者であったと言います。戦闘不能になったときに投降するのは戦時国際法で許容されているというのに、戦陣訓で投降するなど厳命されていたことで、武器弾薬が尽きたのに徒手空拳で突撃したり、玉砕したり、必ず死ぬとわかった特攻をする。沈んで行く艦と運命を共にするのが艦長の不文律だとかは、人間性無視という他に、有能な艦長は次の戦に使えたらうに思う。それに焼野原にされた国土の失われた莫大な資産、北方領土、戦後復興のための大きな努力。これらの無駄に加えて、アジア各地での侵略の汚名と後遺症。これらの明らかな無駄、敗けるとわかった戦争を何故起こしたのであるだろうか。悪しきナショナリズムが台頭し、朝鮮を併合し、満州を領土とせんとし、中国と戦争を始める。国民大半の戦争への熱狂、開戦へと傾く軍部、戦争を煽ることによってもうけるマスコミの前では、

少数の良識ある人々が戦争を回避するのは至難だったのであろう。海に囲まれた仲間の国、英国との同盟を大切にすることで、米国などが日英同盟を解消させて自国の東アジア進出の野望を達成しようとする力に対抗し、日本の実力からしては到底無理な大陸進出などには手をつけず、ロンドン、ワシントン両軍縮会議では条約派の海軍将軍たちの意見を国是としていけば、日本はこの無駄な回り道、意味のない大量の人命損失をみないですんだであろう。

「日本人が反省すべきこと」、日本人には欧米人の折にふれて討論するという習慣がほとんどない。英国では顧客を接遇するのは大体昼食、そして最大のもてなしは会話である。仕事の話やゴルフの話ばかりでなくて政治の話、世界情勢への意見などもしきりに出る。音楽や絵画などの文化、また歴史の話など何か得意なものを持ち、大抵のことは一応の受け答えが出来るようにするのをよしとする。いろいろな話題をこなすには普段の勉強、何事にも興味をもって考えてみるのが大切なのは言うまでもない。こうした習慣からは、付和雷同、群集心理の影響など出にくいであろう。そして、民衆に選ばれる議員は人気投票ではなくて本当に熟慮の末に選ばれる。マスコミも迎合することなく正確な情報を伝えるようになる。世界情勢、日本の本当の国力の分析をする努力をするのではないか。米国と戦争すれば必ず負けると声高に言う事もできたのではないか。これからの日本について考えても、徒に誘導したり、圧力を加えたりするのではなく、情報を十分に公開して皆で議論して行く。そして、これを取り上げる議員を通じて国政に反映させて行く。本当の民主主義を育ててゆかなければならないのではないか。日本国民のろくに考えもせず大勢に流される付和雷同性、融通無碍、日本人の精神的構造の欠点とってよいかもかもしれない。日本人の自己主張の弱さ、周囲を見回して結

局はナーナーとなってしまう特性、国民全体の群集心理、マスコミの煽動、軽易な盲動癖等、日本人気質の文化について厳しく反省せねばならない。正確な情報を求めて合理的現実的な判断に努めることが大事だと思う。合理的現実的な判断が大切なのであって観念論、八紘一宇とか神風とかに踊らされてはならないと伝えています。

(「少年皇族の見た戦争」久邇邦明著、PHP 研究所より引用)

「幹事報告」

幹事 市之瀬正靖



1. RI 日本事務局より 2月のロータリーレポート受信
 - 1 ドル=110円 (※参考・1月=112円)
2. 地区事務所より 3件受信
 - ①国際奉仕委員会より国際奉仕活動支援金への協力の願い
支援金一人当たり：2,000円
 - ②2018-2019年度ライラダー（青少年指導者プログラム）インタラクティブ次期指導者講習会クロスプロモーション開催の案内の時間の変更
点鐘 11:30⇒10:30
 - ③RLIセミナーの案内
日時：3月2日(土) 点鐘 13:30
場所：国立女性教育会館
3. 第2グループ会長・幹事会議事録及び収支報告受信
4. ロータリーの友事務所より 2019-20年度ロータリー手帳買い上げの願い受信

「奨学金授与」

会長 林 康雄



米山奨学生ソダリさんに林会長より今月分の奨学金



ソダリさんから挨拶と近況報告

「ご夫人とご家族への感謝の日」

親睦活動委員会 委員長 影山和良



いつもロータリー活動にご協力いただいているご夫人とご家族へ感謝の印を贈ります。

2日 神山 順子様 19日 田中 美也子様



例会は変更になる場合があります。ご確認下さい。

■新座 RC (木) 12:30~13:30 ベルセゾン

■和光 RC (月) 12:30~ 郵便事業(株)和光支店3F

第2グループ各RC 例会日・会場一覧

事務局 048-473-7041

事務局 048-465-0088

2266-3◇

志木 RC 会報

「寿賀の祝」

会長 林 康雄

寿賀の祝を迎えられる会員の方へ、敬意を込めてお祝い申し上げます。

2月18日 古稀の御祝 大野 栄治 会員



古稀の祝いを迎えられる大野会員

『ロータリーの友』記事紹介

雑誌委員会 委員 田中幸彦



『ロータリーの友』2月号記事紹介

2月 は平和と紛争予防／紛争解決月間です。

横組 P7～11 特集・難民を知る

日本においては、あまり身近といえない難民問題、世界では今どのようなことが起こっ

ているのか、自分の国で安心して暮らせない人たちに対してどんなことができるのか。難民問題についてもっと知り、理解を深め、どんな国際奉仕活動が出来るのか提案の記事になっています。

〓 P12～13 東京広尾RCのポリオ撲滅チャリティ・ピアノリサイタルの記事

東京広尾クラブから出るガバナー年度と世界ポリオデーに合わせたイベントで、チケット代 5,000 円のうち半分以上の 30 ドルをクラブの実績としてではなく、チケットを購入した会員一人一人の財団寄付としたそうです。

音楽を楽しんで支援にもなったイベントは、派手な感じではなく、お洒落でシックで洗練されたロータリーのイメージを印象付けたイベントになったと掲載されています。ポリオプラス基金への寄付は約 267 万円が送金されました。

〓 P23 視点 ガバナーのロータリー・モメント

第 2570 地区茂木正ガバナーの記事で、5 年前にネパールを訪問した時のことが掲載されています。

縦組 P9～12 クラブを訪ねて 秩父 RC

秩父 RC は今年で創立 55 周年を迎えます。例会場は秩父神社で、会員は 51 名です。

秩父の夜祭、秩父 RC のシンボル「ロータリーの森」、ナイトバザールの先駆け「みやのかわ商店街」、酒蔵等、秩父の見どころの紹介。

先日(1月23日)卓話に来て頂いた秩父 RC 会員の「日本ほめる達人協会」根岸和美さんをはじめ、会員の方々の記事が掲載されています。秩父のロータリーの森には、地区内クラブの全市町の木が植樹されているそうです。毎年春に清掃作業があるので、志木クラブも参加してはどうでしょうか。

〓 P18 卓話の泉

「イラッときたら 6 秒待つ」心当たりの有る方は、一読すると良いかも知れません。

出席は会員の義務です。メイクアップを忘れずに！

第2グループ各RC 例会日・会場一覧

◇2266-4
志木 RC 会報

■朝霞キャロット RC (月) 19:00～20:00

シティ・イン北朝霞 3階ホール

事務局 048-470-6811

■志木柳瀬川 RC (木) 19:00～20:00

ふれあいプラザ会議室(丸井8F)

事務局 080-8914-2008

「卓 話」

「ロータリー・リーダーシップ研究会

The Rotary Leadership Institute

(RLI)」

R 情報委員会 副委員長 大野栄治



RLI は 1992 年アメリカ・ニュージャージー州第 7510 地区において、元 RI 理事デビッド・リンネット氏の発案で始められた研修組織であります。

日本では、2008 年 6 月元 RI 理事南園義一日本支部委員長の下でスタートしております。

RLI は国際ロータリーの正式なプログラムではありませんが、多くの元 RI 会長や現、元、次期 RI 理事より大きな支援を得ています。

RI 理事会は RLI 及び同様の地区プログラムを推奨する決議案を採択しました。また、規定審議会では 2013 年に開催された規定審議会を含め、3 度 RLI プログラムを賛成多数で可決し、RI 理事会に推奨しています。

RI 理事会は、RLI の名前にロータリーの名前を使うことを許可し、ロータリーの地区によって管理されている草の根のプログラムとして認めております。

RLI 日本支部は、その目的を、RLI の理念に従ってリーダーシップの研修を通じてロータリーの活性化と発展を願い、一人ひとりのロータリアンのロータリーへの理解とモチベーションを高め、リーダーシップを涵養することである。としております。尚日本版カリ

キュラムでは、米山記念奨学会を入れております。

第 2570 地区では 2011 年西川ガバナー年度に、地区としては各クラブ支援になるプログラムと思い日本支部に加盟致しました。

現在地区研修委員会の中で、RLI 研修をテキストに応じてセミナーを実行しております。テキストの研修目的としては、ロータリアンの自主性と卓越した指導力を涵養し、クラブの刷新性と柔軟性を育み、一層ロータリーが活性化されると信じて活動しております。



例会は変更になる場合があります。ご確認下さい。

■新座こぶし RC (水) 12:30~13:30 ベルセソ

◇ガバナー事務所のホームページ <http://www.rid2570.gr.jp/>

第2グループ各RC 例会日・会場一覧
事務局 048-424-8178

2266-5◇
志木 RC 会報



●出席報告 出席向上委員長 高野邦夫

会員数44名 出席義務者35名 免除者9名

本日出席	本日欠席	本日出席率
33名	6名	84.62%

前々回 MU	前々回修正出席率	平均出席率
(3名中1名)	95.00%	94.22%